

# 第5章 ごみの減量化・資源化の推進と 清掃思想の普及

## 1 ごみの減量化・資源化の推進

### (1) 本市の現状と目標値

①青森地区の概況

②浪岡地区の概況

### (2) 資源ごみの分別収集

①リサイクルの流れ（令和4年度）

②家庭系資源ごみ及び可燃・不燃ごみの推移（青森地区＋浪岡地区）

③品目別資源化量の推移（青森地区＋浪岡地区）

④青森地区における分別収集区分及び分別収集量の推移

⑤浪岡地区における分別収集区分及び分別収集量の推移

### (3) 有価資源回収団体活動奨励事業

### (4) 使用済み割り箸リサイクル運動

### (5) ペットボトルキャップ・リサイクル運動

### (6) 使用済小型家電リサイクル

### (7) 衣類回収

### (8) 生ごみリサイクル推進事業

①経緯

②生ごみ処理機等購入費助成制度

③段ボールコンポスト普及促進事業

## 2 きれいなまちづくりの推進

### (1) 青森市廃棄物減量等推進審議会

### (2) 青森市ごみ問題対策市民会議

①令和4年度主要事業の概要

②組織図

## 3 環境啓発

### (1) 清掃ごよみ、家庭ごみの正しい出し方、啓発用パンフレット等

### (2) 環境パネル展・出前講座等実施状況

# 1 ごみの減量化・資源化の推進

## (1) 本市の現状と目標値

**令和4年度実績**

○市民1人1日当たりのごみ排出量 1,022g  
 (目標値との差 46g)

○リサイクル率 13.8%  
 (目標値との差 △5.8ポイント)

**目標値 (令和5年度)**

○市民1人1日当たりのごみ排出量 976g

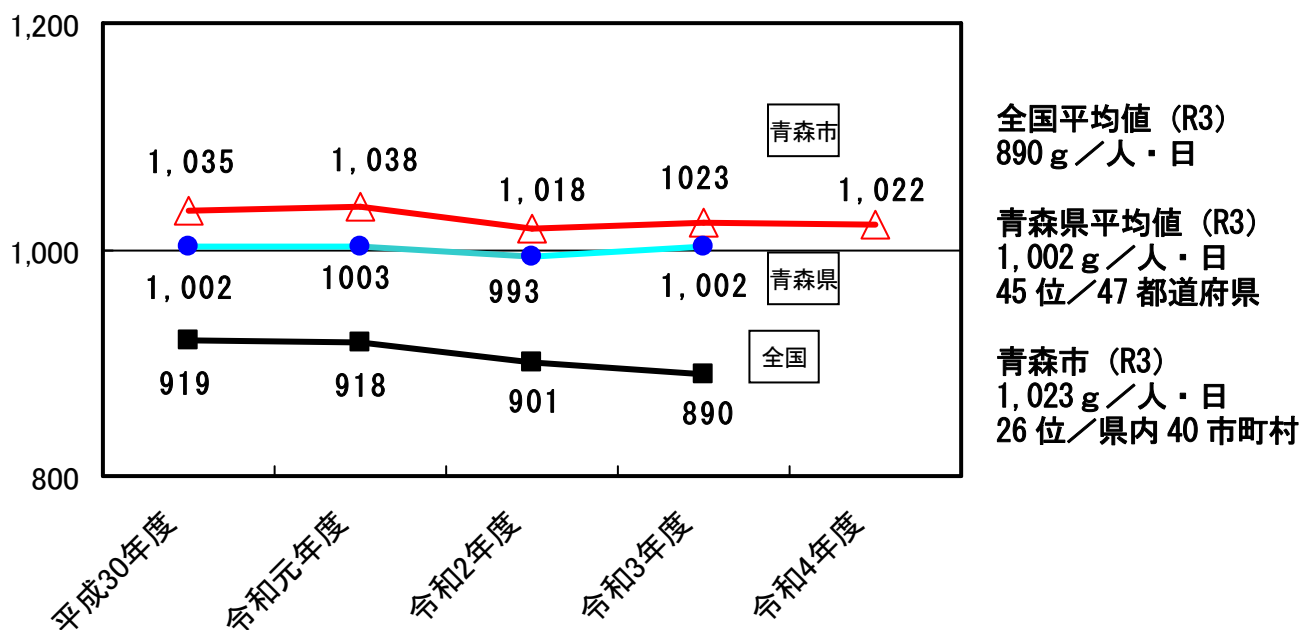
○リサイクル率 19.6%

※市民1人1日当たりのごみ排出量・・・年間排出量÷総人口÷年間の日数

※リサイクル率・・・総資源化量÷ごみ総排出量

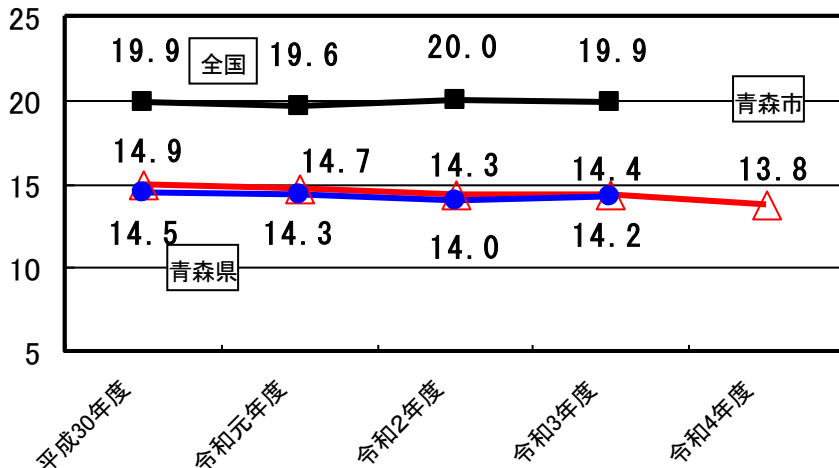
図5-1 市民1人1日当たりのごみ排出量の推移(青森地区+浪岡地区)

g/人・日



%

図5-2 リサイクル率（資源化率）の推移（青森地区+浪岡地区）



全国平均値 (R3)  
19.9%

青森県平均値 (R3)  
14.2%  
41位/47都道府県

青森市 (R3)  
14.4%  
21位/県内40市町村

資源化量の推移（青森地区+浪岡地区）

(単位：t)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
総資源化量 (A)	16,029	15,727	14,843	14,790	14,043	
分別収集による資源化量	7,334	7,082	7,002	6,888	6,766	
集団回収量	4,954	4,706	4,170	4,129	3,874	
破砕処理回収量 (鉄・アルミ)	405	544	459	358	351	
使用済み割り箸	2	2	2	1	1	
ペットボトルキャップ	11	11	10	10	9	
廃食用油	14	13	12	12	12	
使用済小型家電	29	21	5	7	8	
スラグ	3,251	3,308	3,183	3,385	3,022	
ホタテガイ養殖残渣	29	40	0	0	0	
品目別	紙類	7,206	6,781	6,129	6,048	5,783
	金属類	1,193	1,329	1,273	1,141	1,074
	ガラス類	2,202	2,082	2,042	1,930	1,908
	ペットボトル	611	619	645	667	665
	その他のプラスチック	1,445	1,482	1,522	1,561	1,540
	古布類	36	39	20	28	21
	使用済み割り箸	2	2	2	1	1
	ペットボトルキャップ	11	11	10	10	9
	廃食用油	14	13	12	12	12
	使用済小型家電	29	21	5	7	8
	スラグ	3,251	3,308	3,183	3,385	3,022
	堆肥 (ホタテガイ)	0	40	0	0	0
	ごみ総排出量 (B)	107,711	107,010	103,703	102,964	101,555
リサイクル率 (A÷B)	16.4%	14.7%	14.3%	14.4%	13.8%	
1人1日当たりの排出量	1,035g	1,038g	1,018g	1,023g	1,022g	

※特殊ごみは含まない。

## ① 青森地区の概況

青森地区では、ごみの減量化・資源化対策として、分別収集を開始し、住民団体等による有価資源物回収、青森市清掃工場による鉄・アルミ・スラグ回収、オフィス町内会による事業所から出る古紙の回収、古紙リサイクルエコステーションによる家庭から出る古紙の回収、古紙リサイクルセンターによる事業所及び家庭から出る古紙の回収を行っている。

また、使用済み割り箸やペットボトルキャップ、廃食用油、衣類、使用済小型家電のリサイクル運動や「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」運動に参加するなど、市内に回収ボックスを設置し、拠点回収を行っている。

令和4年度の分別収集による資源化量は6,584t、住民団体等によって資源回収された集団回収量は3,674t、青森市清掃工場での鉄・アルミ回収量は210t、青森市清掃工場でのスラグ生成量は3,022t、そのほかの拠点回収などによる資源化量は合わせて29tで、全て合計した総資源化量は、13,519tとなっている。

リサイクル率は、14.1%であり、前年度と比較して0.5ポイント減少した。

### 資源化量の推移（青森地区）

（単位：t）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
総資源化量（A）	15,402	15,095	14,313	14,246	13,519	
分別収集による資源化量	7,130	6,887	6,805	6,696	6,584	
集団回収量	4,696	4,443	3,994	3,920	3,674	
破砕処理回収量（鉄・アルミ）	258	386	303	216	210	
使用済み割り箸	2	2	2	1	1	
ペットボトルキャップ	10	11	10	10	9	
廃食用油	13	12	11	11	11	
使用済小型家電	13	6	5	7	8	
スラグ	3,251	3,308	3,183	3,385	3,022	
ホタテガイ養殖残渣	29	40	0	0	0	
品目別	紙類	6,874	6,450	5,884	5,779	5,530
	金属類	1,022	1,149	1,094	974	911
	ガラス類	2,144	2,027	1,987	1,876	1,856
	ペットボトル	594	601	628	648	645
	その他のプラスチック	1,414	1,450	1,489	1,526	1,504
	古布類	36	39	20	28	21
	使用済み割り箸	2	2	2	1	1
	ペットボトルキャップ	10	11	10	10	9
	廃食用油	13	12	11	11	11
	使用済小型家電	13	6	5	7	8
	スラグ	3,251	3,308	3,183	3,385	3,022
	堆肥（ホタテガイ）	29	40	0	0	0
	ごみ総排出量（B）	101,499	100,787	97,831	97,261	96,007
リサイクル率（A÷B）	15.2%	15.0%	14.6%	14.6%	14.1%	
1人1日当たりの排出量	1,042g	1,044g	1,025g	1,031g	1,031g	

※特殊ごみは含まない。

## ② 浪岡地区の概況

浪岡地区では、ごみの減量化・資源化対策として、分別収集を開始し、住民団体等による有価資源物の集団回収、粗大ごみ処理施設（黒石地区清掃施設組合）での鉄・アルミ・使用済小型家電回収、使用済み割り箸やペットボトルキャップのリサイクル運動などを行っている。

令和4年度の分別収集による資源化量は182t、住民団体等によって資源回収された集団回収量は200t、粗大ごみ処理施設での鉄・アルミ回収量は141t、廃食用油の回収量は1tであり、これらを合わせた総資源化量は524tとなっている。

リサイクル率は9.4%となっており、前年度と比較して0.1ポイント減少した。

### 資源化量の推移（浪岡地区）

（単位：t）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
総資源化量（A）	627	632	530	544	524	
分別収集による資源化量	204	195	197	192	182	
集団回収量	258	263	176	209	200	
破砕処理回収量（鉄・アルミ）	147	158	156	142	141	
使用済み割り箸	0	0	0	0	0	
ペットボトルキャップ	1	0	0	0	0	
廃食用油	1	1	1	1	1	
使用済小型家電	16	15	0	0	0	
品目別	紙類	332	331	245	269	253
	金属類	171	180	179	167	163
	ガラス類	58	55	55	54	52
	ペットボトル	17	18	17	19	20
	その他のプラスチック	31	32	33	35	36
	古布類	0	0	0	0	0
	使用済み割り箸	0	0	0	0	0
	ペットボトルキャップ	1	0	0	0	0
	廃食用油	1	1	1	1	1
	使用済小型家電	16	15	0	0	0
ごみ総排出量（B）	6,212	6,223	5,872	5,703	5,548	
リサイクル率（A÷B）	10.1%	10.2%	9.0%	9.5%	9.4%	
1人1日当たりの排出量	942g	952g	912g	980g	887g	

※直接搬入ごみは含まない。

## (2) 資源ごみの分別収集

### 【青森地区】

平成11年7月から10町会、平成12年7月から41町会のモデル地区で分別収集に取り組み、平成13年4月から青森地区全域を対象に資源ごみの分別収集を開始した。

#### ○分別品目

- 平成13年 4月 「空き缶（スチール缶・アルミ缶）」「ペットボトル」「生きびん」「古紙類」で開始
- 平成14年 4月 「ガラスびん」を追加
- 平成16年 4月 「古紙類」の収集日を月1回から月2回に変更
- 平成19年10月 桜川団地町会をモデル地区として「その他のプラスチック」の分別収集を実施
- 平成22年 9月 「その他のプラスチック」のモデル地区を拡大  
「相馬町」「北平岡」「浜町」「油川下町」「桜川団地」の5町会で分別収集を実施
- 平成24年 4月 「その他のプラスチック」分別収集を全地区へ拡大（空き缶・ペットボトル等と同じ日）  
11月 「その他のプラスチック」の収集日を月2回の単独収集へ変更
- 平成29年 4月 「その他のプラスチック」の収集日を月2回から週1回に変更

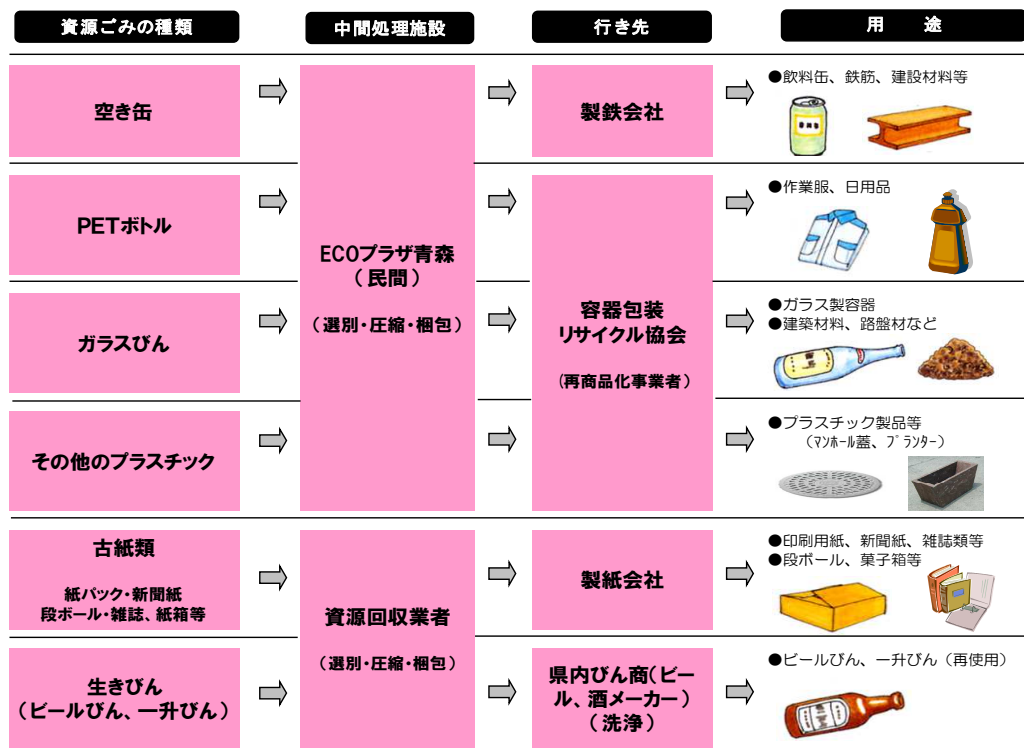
### 【浪岡地区】

平成11年4月からモデル地区での分別収集に取り組み、平成12年4月から、浪岡地区全域を対象に資源ごみの分別収集を開始した。

#### ○分別品目

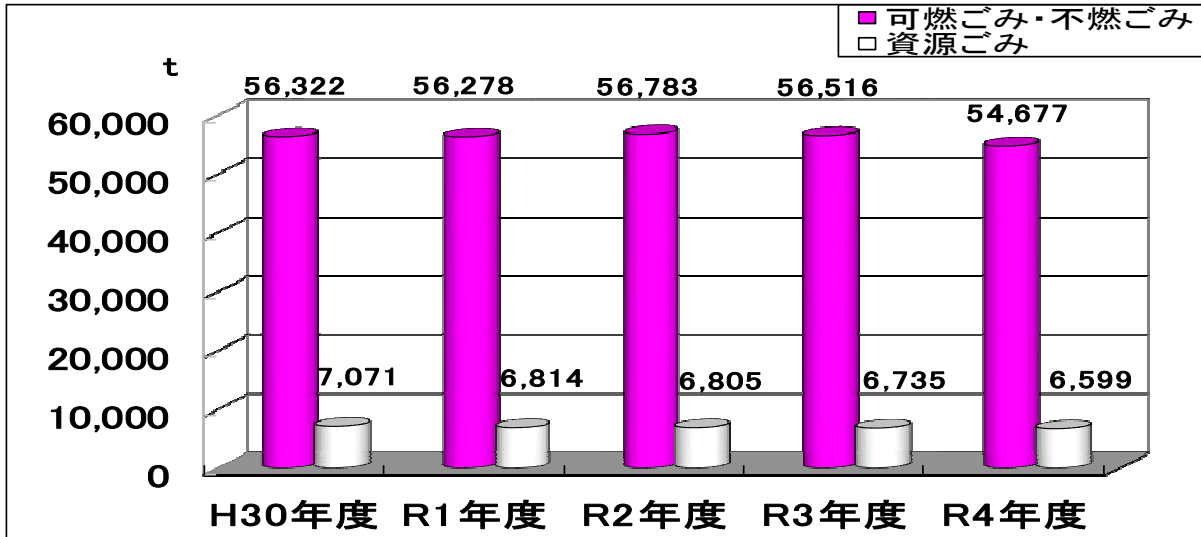
- 平成12年 4月 「ペットボトル」「その他のプラスチック」「ガラスびん」「古紙類」で開始
- 平成19年10月 茶屋町町内会をモデル地区として「空き缶（スチール缶・アルミ缶）」  
「生きびん」の分別収集を実施
- 平成20年 4月 浪岡地区全域を対象に「空き缶（スチール缶・アルミ缶）」の分別収集を実施
- 令和3年 3月 モデル地区として実施していた「生きびん」の分別収集を終了

## ① リサイクルの流れ（令和4年度）



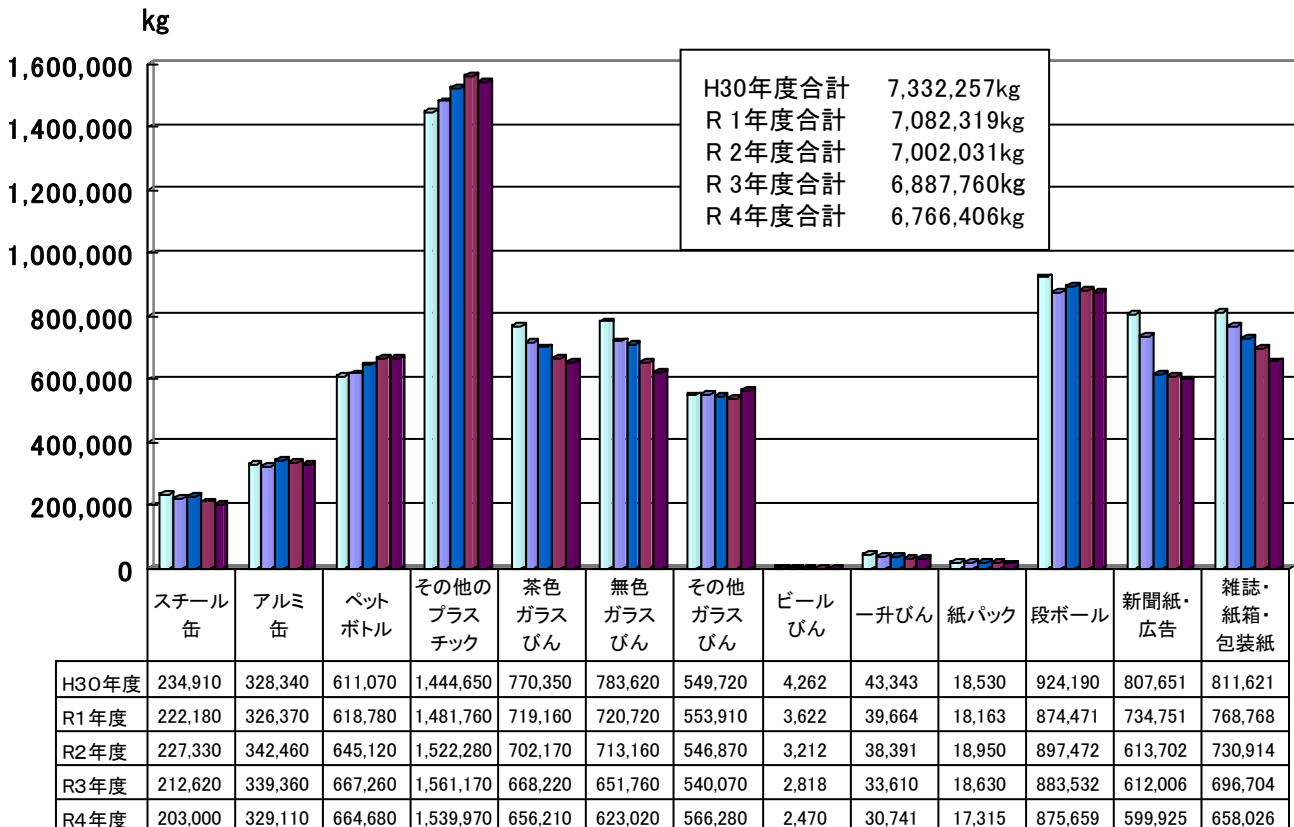
② 家庭系資源ごみ及び可燃・不燃ごみの推移（青森地区＋浪岡地区）

令和4年度の家庭系資源ごみの収集量は、6,599 tであり、前年度と比較して136 t減少した。  
 可燃ごみ・不燃ごみの収集量は、54,677 tであり、前年度と比較して1,839 t減少した。



③ 品目別資源化量の推移（青森地区＋浪岡地区）

令和4年度の分別収集による資源化量（事業系含む）は合計で6,766 tであり、前年度と比較して122 t減少した。



#### ④ 青森地区における分別収集区分及び分別収集量の推移

##### ○ 資源ごみの収集区分

区 分		排出方法等	収集回数
空き缶（スチール缶・アルミ缶）		折りたたみ式回収容器（緑色）へ入れる	月2回
ペットボトル		折りたたみ式回収容器（青色） またはネットバッグ（緑色）へ入れる	月2回
ガラスびん		びん回収容器へ入れる	月2回
その他のプラスチック		ネットバッグ（青色）へ入れる	週1回
生きびん（ビールびん・一升びん）		びん回収容器へ入れる	月2回
古紙類	紙パック	種類ごとに紙ひもで縛る	月2回
	段ボール		
	新聞紙・広告		
	雑誌・紙箱・包装紙		

##### ○ 分別収集量の推移

（単位：kg）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	家庭系	事業系	計	家庭系	事業系	計	家庭系	事業系	計	
空き缶(スチール缶・アルミ缶)	601,020	10,730	611,750	582,738	11,328	594,066	561,622	13,372	574,994	
ペットボトル	639,065	40,906	679,971	658,446	45,040	703,486	651,648	49,630	701,278	
ガラスびん	1,502,640	409,290	1,911,930	1,466,632	383,160	1,849,792	1,413,931	423,872	1,837,803	
その他のプラスチック	1,638,890	1,202	1,640,092	1,658,058	1,797	1,659,855	1,663,211	859	1,664,070	
生きびん	ビールびん	3,198	—	3,198	2,818	—	2,818	2,470	—	2,470
	一升びん	38,234	—	38,234	33,610	—	33,610	30,741	—	30,741
古紙類	紙パック	17,580	—	17,580	17,400	—	17,400	16,325	—	16,325
	段ボール	881,395	—	881,395	870,195	—	870,195	862,365	—	862,365
	新聞紙・広告	584,790	—	584,790	588,930	—	588,930	580,150	—	580,150
	雑誌・紙箱・包装紙	693,445	—	693,445	657,830	—	657,830	625,460	—	625,460
合 計	6,600,257	462,128	7,062,385	6,536,657	441,325	6,977,982	6,407,923	487,733	6,895,656	



## ⑤ 浪岡地区における分別収集区分及び分別収集量の推移

### ○ 資源ごみの収集区分

区 分		排出方法等	収集回数
空き缶（スチール缶・アルミ缶）		ネットバッグへ入れる	月2回
ペットボトル		ネットバッグへ入れる	月2回
ガラスびん		色ごとにそれぞれのびん回収容器へ入れる	月2回
その他のプラスチック		ネットバッグへ入れる	月2回
古紙類	紙パック	種類ごとに紙ひもで十字に縛る	月2回
	段ボール		
	新聞紙・広告		
	雑誌・紙箱・包装紙		

### ○ 分別収集量の推移

(単位：kg)

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	家庭系	事業系	計	家庭系	事業系	計	家庭系	事業系	計	
空き缶(スチール缶・アルミ缶)	12,330	—	12,330	12,140	—	12,140	11,830	—	11,830	
ペットボトル	19,050	—	19,050	21,050	—	21,050	21,630	—	21,630	
ガラスびん	50,620	—	50,620	50,370	—	50,370	49,520	—	49,520	
その他のプラスチック	36,290	—	36,290	37,760	—	37,760	39,570	—	39,570	
生きびん	ビールびん	11	—	11	0	—	0	—	0	
	一升びん	164	—	164	0	—	0	—	0	
古紙類	紙パック	1,370	—	1,370	1,230	—	1,230	990	—	990
	段ボール	16,610	—	16,610	13,950	—	13,950	13,900	—	13,900
	新聞紙・広告	29,490	—	29,490	23,670	—	23,670	20,370	—	20,370
	雑誌・紙箱・包装紙	38,110	—	38,110	39,550	—	39,550	33,300	—	33,300
合 計	204,045	0	204,045	199,720	0	199,720	191,110	0	191,110	

### (3) 有価資源回収団体活動奨励事業

青森地区では、ごみ問題に対する市民の関心を高め、ごみの減量化と資源の有効利用を図ることを目的に昭和58年4月から「有価資源物回収事業」を開始した。

浪岡地区では、資源ごみ回収運動の推進を図ることを目的に、平成5年9月から「浪岡町資源ごみ回収運動推進報奨金交付事業」を開始した。

この事業では、市に登録した町（内）会・子供会・老人会・婦人会・PTAなどの住民団体が、古紙類・金属類・空びん類・古布類などの有価物を回収し、業者に売り渡した場合、その回収量に応じて奨励金を交付している。

集団回収には、①ごみの減量化 ②資源の有効活用 ③環境保護 ④ごみ処理コストの軽減などのメリットがあるとともに、市から交付される奨励金や有価資源物の回収業者への売却金は、住民団体の運営費用、地域の様々なコミュニティ活動に幅広く活用することができる。

浪岡地区では平成13年度に、奨励金の額を1kg当たり3円から4円に引き上げ、青森地区では平成22年度に、1kg当たり3円から4円に引き上げた。平成25年度に、青森地区・浪岡地区ともに1kg当たり4円から3円に引き下げたが、平成27年度に、1kg当たり4円に再度引き上げた。

平成17年度には両市町が合併し、両市町の制度を適用する一市二制度とすることとした。

この集団回収運動をより一層促進するため、平成22年度から青森地区と浪岡地区の奨励金の額と対象品目を統一した。

#### 奨励金の額

1kg当たり4円

#### 対象品目

一升びん、ビールびん、新聞・広告、雑誌・紙箱・包装紙、段ボール、紙パック、スチール缶、アルミ缶、鉄くず、ブリキ、銅、古布類



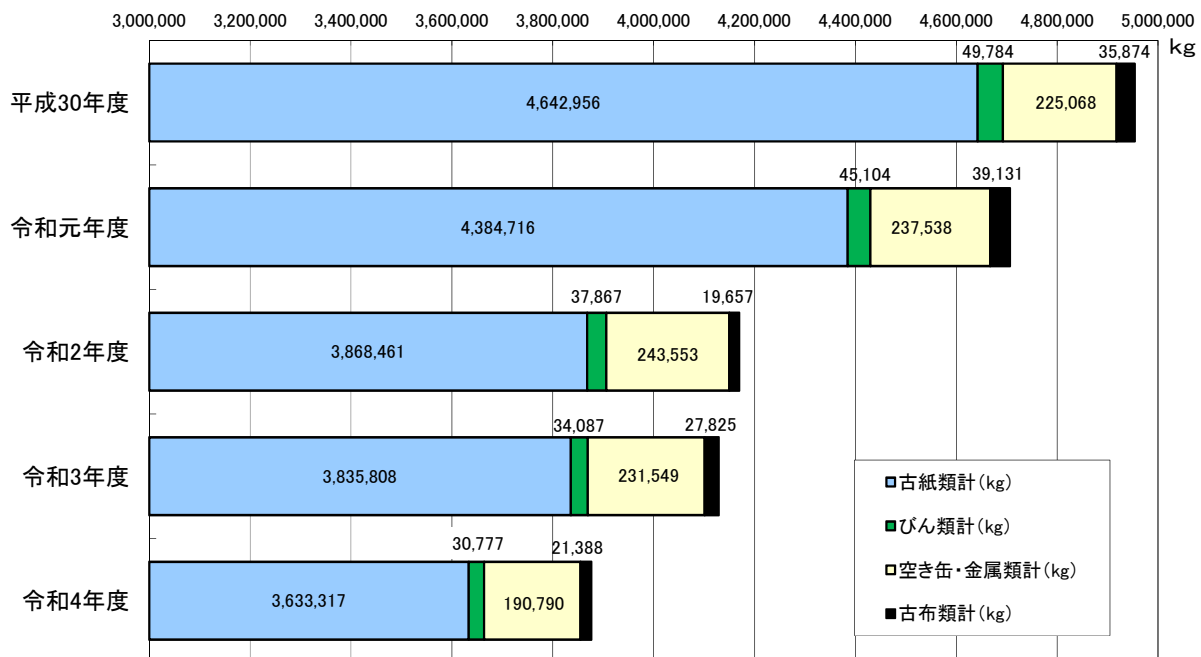
平川町内会の集団回収の様子



## 資源物回収実績の推移

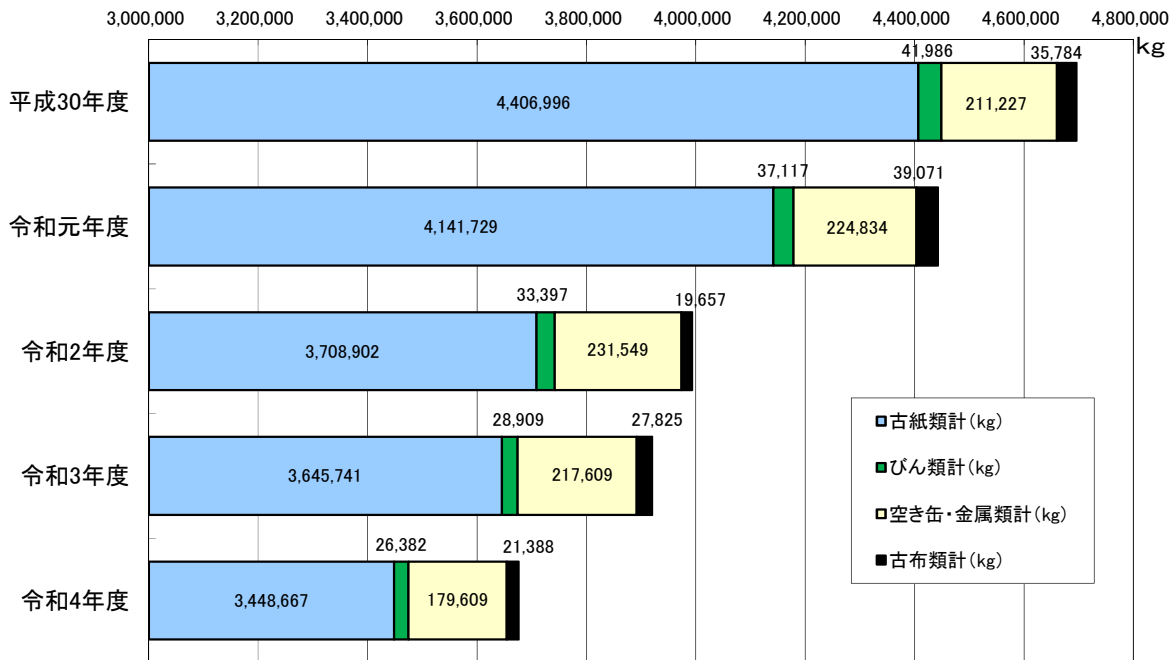
### ○青森地区と浪岡地区の合算

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度と 令和4年度を 比較したときの増減
実施 団体 数	町(内)会	125	129	132	136	139	3
	子供会	44	38	29	29	28	▲ 1
	婦人会	19	17	17	17	16	▲ 1
	学校・PTA	42	42	39	38	38	0
	老人会	33	33	31	31	31	0
	その他	36	34	31	28	26	▲ 2
	合計	299	293	279	279	278	▲ 1
回収 量	古紙類計(kg)	4,642,956	4,384,716	3,868,461	3,835,808	3,633,317	▲ 202,491
	びん類計(kg)	49,784	45,104	37,867	34,087	30,777	▲ 3,310
	空き缶・金属類計 (kg)	225,068	237,538	243,553	231,549	190,790	▲ 40,759
	古布類計(kg)	35,874	39,131	19,657	27,825	21,388	▲ 6,437
	合計(kg)	4,953,682	4,706,489	4,169,538	4,129,269	3,876,272	▲ 252,997
奨励金(円)		19,814,728	18,825,956	16,678,152	16,517,076	15,505,088	▲ 1,011,988



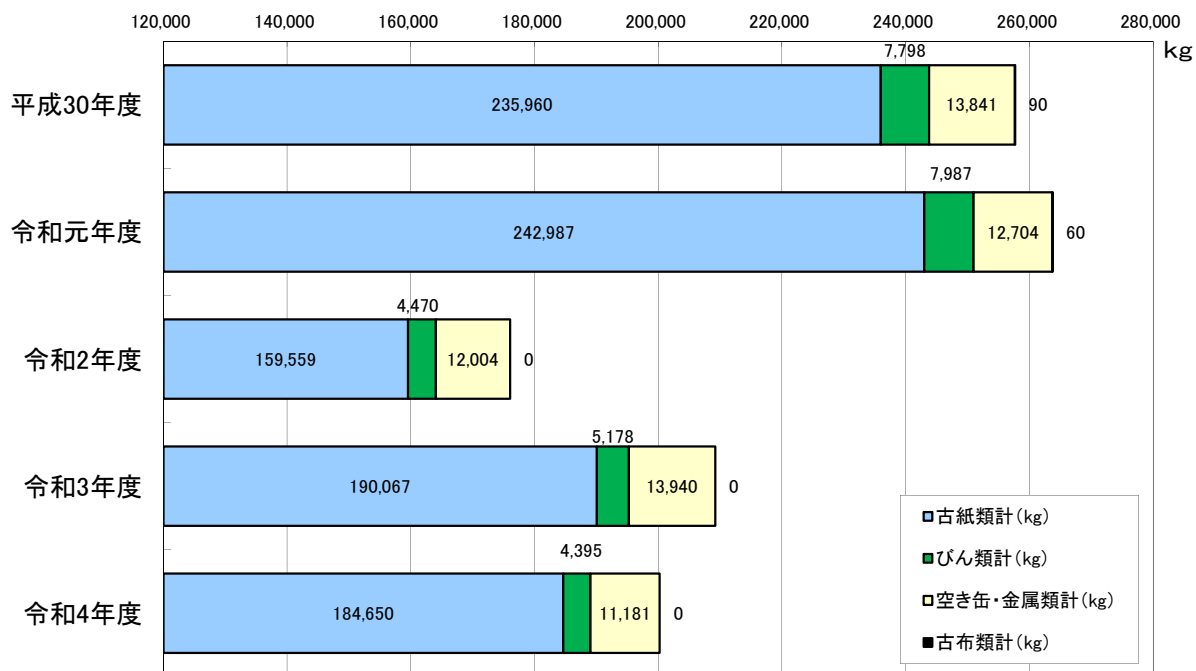
○青森地区

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度と 令和4年度を 比較したときの増減
実施団体数	町会	117	121	124	128	131	3
	子供会	40	34	28	27	26	▲ 1
	婦人会	18	16	16	15	14	▲ 1
	学校・PTA	35	36	34	33	34	1
	老人会	32	32	29	30	30	0
	その他	35	33	30	26	24	▲ 2
	合計	277	272	261	259	259	0
回収量	古紙類計(kg)	4,406,996	4,141,729	3,708,902	3,645,741	3,448,667	▲ 197,074
	びん類計(kg)	41,986	37,117	33,397	28,909	26,382	▲ 2,527
	空き缶・金属類計(kg)	211,227	224,834	231,549	217,609	179,609	▲ 38,000
	古布類計(kg)	35,784	39,071	19,657	27,825	21,388	▲ 6,437
	合計(kg)	4,695,993	4,442,751	3,993,505	3,920,084	3,676,046	▲ 244,038
奨励金(円)		18,783,972	17,771,004	15,974,020	15,680,336	14,704,184	▲ 976,152



○浪岡地区

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度と 令和4年度を 比較したときの増減
実施団体数	町(内)会	8	8	8	8	8	0
	子供会	4	4	1	2	2	0
	婦人会	1	1	1	2	2	0
	学校・PTA	7	6	5	5	4	▲ 1
	老人会	1	1	2	1	1	0
	その他	1	1	1	2	2	0
	合計	22	21	18	20	19	▲ 1
回収量	古紙類計(kg)	235,960	242,987	159,559	190,067	184,650	▲ 5,417
	びん類計(kg)	7,798	7,987	4,470	5,178	4,395	▲ 783
	空き缶・金属類計(kg)	13,841	12,704	12,004	13,940	11,181	▲ 2,759
	古布類計(kg)	90	60	0	0	0	0
	合計(kg)	257,689	263,738	176,033	209,185	200,226	▲ 8,959
奨励金(円)		1,030,756	1,054,952	704,132	836,740	800,904	▲ 35,836



#### (4) 使用済み割り箸リサイクル運動

毎日、大量に消費され、使用済みとなった「割り箸」を単にごみとして捨てるのではなく、もう一度、紙パルプの原料として紙製品にリサイクルすることは、ごみの減量化とともに資源の有効利用に繋がることから、平成12年12月より各種団体や事業所等の協力を得て、「使用済み割り箸リサイクル運動」を開始した。

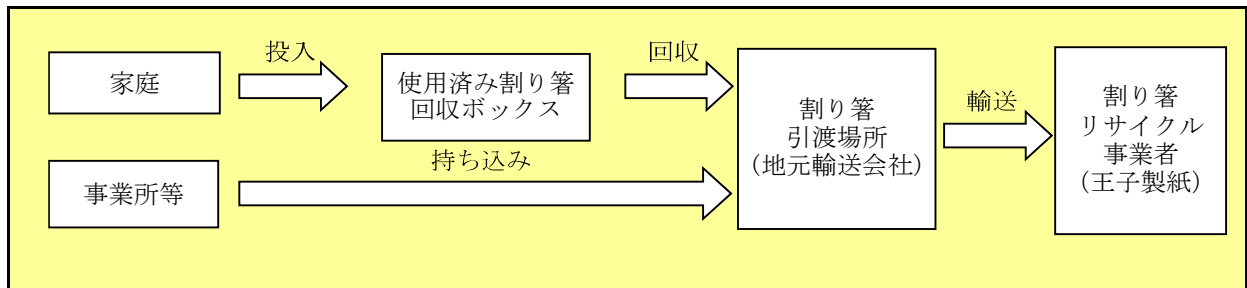
また、平成17年からは、より多くの市民の皆さんがこのリサイクル運動へ参加できるように、市内12箇所の各市民センター、そして柳川庁舎や浪岡庁舎に「使用済み割り箸回収ボックス」を設置し、家庭から出る使用済み割り箸の回収も行っている。

回収された使用済み割り箸は、地元輸送会社（栗林海陸輸送㈱）の協力で王子製紙㈱苫小牧工場に運ばれ、木材チップに交ぜこみ、主に新聞用紙や印刷用紙などの紙製品にリサイクルされている。

この運動のリサイクル効果としては、割り箸3膳（6本）がA4コピー用紙1枚、400g（200本）が週刊誌1冊、10kg（5千本）が箱型ティッシュペーパー15箱相当にリサイクルされることとなる。

開始から令和4年度までに累計69,739.9kgを回収したことから、A4コピー用紙に換算すると約581万枚、週刊誌に換算すると約17万4千冊、ティッシュペーパーに換算すると約10万5千箱もの資源リサイクルに貢献している。

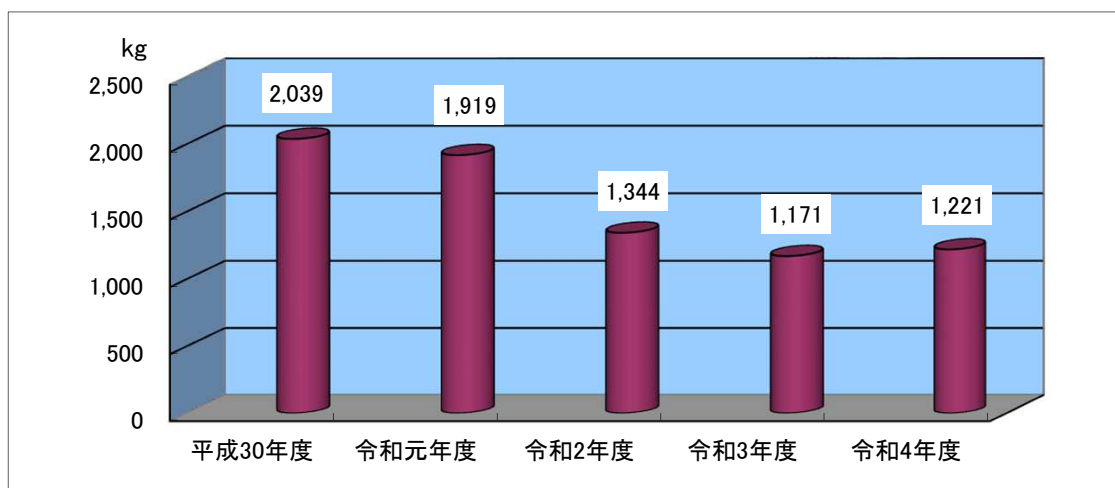
#### ○割り箸リサイクルの流れ



#### ○使用済み割り箸回収ボックス設置場所（14箇所）

- ・中央市民センター
- ・西部市民センター
- ・東部市民センター
- ・古川市民センター
- ・油川市民センター
- ・横内市民センター
- ・沖館市民センター
- ・大野市民センター
- ・戸山市民センター
- ・荒川市民センター
- ・柳川庁舎
- ・浪岡庁舎
- ・東岳コミュニティセンター
- ・北部地区農村環境改善センター

#### ○使用済み割り箸回収実績の推移

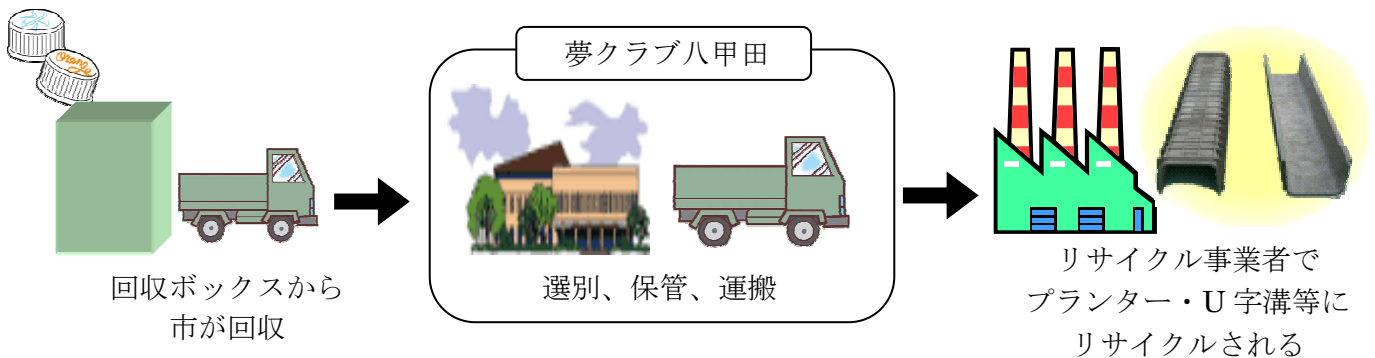


## (5) ペットボトルキャップ・リサイクル運動

平成21年9月に、青森中央高校の生徒と松原・ときわ両保育園の児童が共同で作成した「ペットボトルキャップ・リサイクルボックス」の寄贈を受けたことから、市役所本庁舎や柳川庁舎、各市民センターに、拠点回収用のボックスを設置し、キャップの売却益をもって発展途上国の子どもたちにワクチンを贈ることを目的として、特定非営利活動法人「エコねっと未来あおもり」と連携する形で「ペットボトルキャップ・リサイクル運動」を開始した。

その後、令和元年7月1日より該当運動が「エコねっと未来あおもり」から、ボランティア団体「夢クラブ八甲田」へ引き継がれ、現在は社会福祉活動や環境保護活動に役立てられる流れとなっている。

### ○ペットボトルキャップ・リサイクル運動の流れ



### ○ペットボトルキャップ・リサイクルボックス設置場所(18箇所)

- ・中央市民センター
- ・西部市民センター
- ・東部市民センター
- ・古川市民センター
- ・横内市民センター
- ・沖館市民センター
- ・大野市民センター
- ・油川市民センター
- ・戸山市民センター
- ・荒川市民センター
- ・東岳コミュニティセンター
- ・北部地区農村環境改善センター
- ・本庁舎
- ・駅前庁舎
- ・柳川庁舎
- ・浪岡庁舎
- ・しあわせプラザ
- ・浪岡中央公民館

### ○ペットボトルキャップ回収実績

平成30年度：11,115.0kg

令和元年度：11,019.0kg

令和2年度：9,801.8kg

令和3年度：9,548.0kg

令和4年度：9,679.2kg

## (6) 使用済小型家電リサイクル

小型家電リサイクル制度については、平成24年8月に公布された「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」いわゆる「小型家電リサイクル法」に基づき、不要になった小型家電を回収し、貴金属やレアメタル等の再資源化を目指す制度で、平成25年4月から施行された。

本制度における自治体の役割は、これまで不燃ごみとして主に埋立処分していた小型家電を分別して収集し、再資源化を行うために国の認定を受けた認定事業者へ引き渡すこととなっている。

市では、平成25年度に市内に施設を有する認定事業者と、回収品目や回収方法、認定事業者への引渡し方法に係る検討などの準備を進め、平成26年2月3日から市役所本庁舎や市民センターなどに回収ボックスを設置し「使用済小型家電リサイクル」を開始した。

平成31年4月1日より、回収品目が下記の品目となった。

- CSデジタルチューナー ●ETCユニット ●DVD・ビデオデッキ ●ACアダプタ
- ビデオプロジェクション ●ミキサー ●プロジェクタ ●プラグ・ジャック
- カー用品（カーナビ、カーラジオなど） ●電気アイロン ●電動工具（電気ドリルなど）
- 日本語ワープロ ●パソコン本体及び携帯電話（別途専用ボックスへ）
- 小型充電式電池を取り外せない小型家電 ●リサイクルマークの付いていない小型充電式電池

### ○使用済小型家電のゆくえ



### ○使用済小型家電リサイクル回収ボックス設置場所(16箇所)

- ・中央市民センター
- ・西部市民センター
- ・東部市民センター
- ・古川市民センター
- ・横内市民センター
- ・沖館市民センター
- ・油川市民センター
- ・戸山市民センター
- ・荒川市民センター
- ・東岳コミュニティセンター
- ・北部地区農村環境改善センター
- ・本庁舎
- ・駅前庁舎
- ・柳川庁舎
- ・浪岡庁舎
- ・浪岡中央公民館

### ○使用済小型家電回収実績

平成30年度：13,420kg（メダルプロジェクト分：5,870kg それ以外分7,550kg）  
 令和元年度：5,900kg  
 令和2年度：5,140kg  
 令和3年度：6,780kg  
 令和4年度：7,730kg





## ○都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

平成29年度より不要になった小型家電に含まれるリサイクル材を活用して、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルをつくるプロジェクトを「東京2020組織委員会・環境省・日本環境衛生センター・NTTドコモ・東京都」が主催となって「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」として開始した。



このプロジェクトに平成29年6月から青森市も参加し、パソコン・携帯電話を回収品目として実施した。

このプロジェクトは、メダルの原材料が集まったため、平成31年3月31日で終了した。

### ・みんなのメダルプロジェクト回収ボックス設置場所(5箇所)

- ・中央市民センター
- ・西部市民センター
- ・駅前庁舎
- ・柳川庁舎
- ・浪岡庁舎

### ・みんなのメダルプロジェクト回収実績

平成30年度：5,870kg



※青森市では、平成31年4月1日から、このプロジェクトで使用していた回収ボックスを活用し、パソコン・携帯電話を引き続き回収している。

## (7) 衣類回収

青森市ではこれまで衣類を可燃ごみとして処理していたが、ごみの減量化を図るため、平成27年3月23日から衣類の拠点回収を開始した。

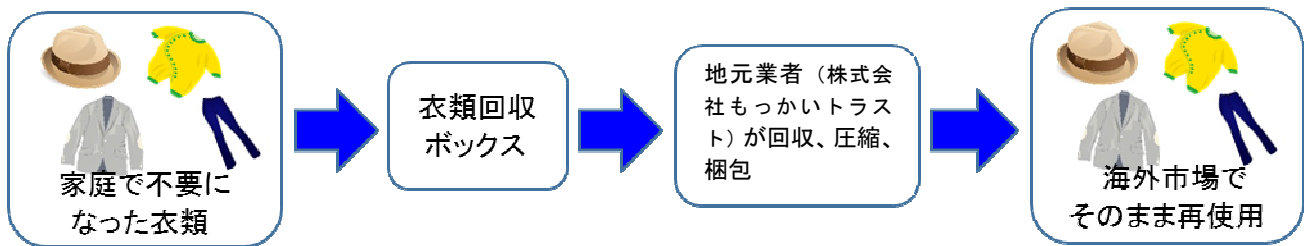
この取組は、不要となった衣類を市内9箇所の市民センター等に設置する専用ボックスで回収するものである。

市民の皆さんから出された衣類は、地元業者の株式会社もっかいトラストが回収し、海外市場において衣類としてそのまま再使用される。

回収の対象となる衣類は、家庭から出る衣類全般で、洗濯済みのものとしている。ただし、下着や靴下などの直接肌に身につけるもののほか、汚れのひどいものや濡れているもの、カビが生えているもの、着用不能な程度の破れがあるものなど、衣類として再使用できないものは回収の対象外となる。

衣類は、これまで可燃ごみの多くを占めており、衣類リユースに取り組むことで可燃ごみの減量化に繋がるとともに、循環型社会の形成にも役立つものである。

### ○衣類リユースの流れ



### ○衣類回収ボックス設置場所(9箇所)

- ・中央市民センター
- ・西部市民センター
- ・東部市民センター
- ・荒川市民センター
- ・油川市民センター
- ・本庁舎
- ・駅前庁舎
- ・柳川庁舎
- ・浪岡庁舎

### ○衣類回収実績

平成30年度： 95,080kg  
令和元年度： 101,225kg  
令和2年度： 24,382kg  
令和3年度： 77,635kg  
令和4年度： 82,865kg

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年5月1日から令和2年11月30日まで一時的に回収を休止した。



## (8) 生ごみリサイクル推進事業

### ①経緯

市では、平成19年度に家庭ごみの有料化について検討したが、市民の皆様から多数寄せられた「有料化の前に取り組むべきことをまず進めるべき」という趣旨のご意見を尊重し、家庭ごみの有料化の決定を先送りした上で、「青森市市民協働方針」に基づき平成20年度、21年度に「ごみ処理」をテーマとした「まちづくりワークショップ」を開催した。

このワークショップで、ごみの減量化・資源化への取組として実施した、生ごみ減量モニター事業で得られた成果を清掃行政に反映し、平成22年度から生ごみリサイクル推進事業として「生ごみ処理機等購入費助成制度」と「段ボールコンポスト普及促進事業」を開始した。

### ②生ごみ処理機等購入費助成制度

#### ○事業内容

家庭から排出される生ごみを減量・堆肥化する生ごみ処理機又は生ごみ処理機で使用する発酵促進剤等の消耗品を購入する方に対し、購入費の一部を助成することで処理機の普及を促し、生ごみ排出量の減量化を図った。

#### ○助成内容

市内に住所を有し、かつ居住をしている方で、市税に未納がなく、購入した処理機を良好な状態で維持管理できる方を対象とし、対象品と助成率は次のとおりとした。

- ・生ごみ処理機等 助成率：購入費の2分の1（上限3千円）

#### ○令和4年度実績

助成対象品	申請件数	助成件数	助成額
生ごみ処理機等	25件	22件	64,700円



生ごみコンポスト容器

### ③段ボールコンポスト普及促進事業

#### ○事業内容

生ごみを減らし、リサイクルする一つ的手段として、段ボールコンポスト（※）を普及させる取組を開始するに当たり、講習会を実施し、無料で基材の配付とマニュアルの提供をした。

#### ※ 段ボールコンポストとは…

生ごみを基材（ピートモスともみがらくん炭）とともに段ボールに入れ、微生物の力で発酵、分解し、堆肥化を行うもの。

#### ○講習受講者人数実績

平成30年度： 44名  
令和 元年度： 50名  
令和 2年度： 56名  
令和 3年度： 18名（中止のため資料送付のみ）  
令和 4年度： 60名



段ボールコンポスト作製の様子

## 2 きれいなまちづくりの推進

### (1) 青森市廃棄物減量等推進審議会

市では、廃棄物の減量化、資源化、適正処理及び生活環境の保持等に関する事項を審議するため、平成7年1月から「青森市廃棄物減量等推進審議会」を設置している。

### 青森市廃棄物減量等推進審議会 委員名簿

任期：令和5年2月9日～令和7年2月8日

委員の区分	氏名	性別	所属等	備考
2号委員 学識経験者	あおやま なおと 青山直人	男	青森公立大学 経営経済学部 准教授	
3号委員 各種団体の 代表者	たけなか よしみち 竹中義道	男	青森商工会議所工業振興委員会 委員長	青森地区 事業系ごみ
	いちのへ よしまさ 一戸善正	男	青森市浪岡商工会 会長	浪岡地区 事業系ごみ
	ささき しげみつ ◎ 佐々木 重光	男	青森市町会連合会 会長	青森地区 家庭系ごみ
	いとう よしお 伊藤芳男	男	青森市浪岡町内会連合会 会長	浪岡地区 家庭系ごみ
	にした ふみたけ ○ 西田文豪	男	青森市リサイクル環境協議会 会長	リサイクル 推進
4号委員 関係行政機関の職員	かみあきと けんいち 上明戸 健一	男	青森県環境生活部 環境政策課 総括主幹	
5号委員 その他市長が必要 と認める者	みつや あゆみ 三津谷 あゆみ	女	公募	公募

◎= 会長 ○= 副会長

8名

令和5年3月31日現在

## (2) 青森市ごみ問題対策市民会議

「青森市ごみ問題対策市民会議」は、ごみ問題に対する実践活動を通じて、地域のコミュニケーションを図りながら、明るくきれいな住みよいまちづくりを推進することを目的に、昭和60年11月、青森市内の全町会と賛同する各種団体等により設立された。また、平成17年4月の市町合併に伴い、浪岡地区の全町内会が浪岡ブロックとして参加している。

当市民会議では、市内における清掃活動の実施のほか、清掃施設見学会などを通じ、ごみの減量化、資源の有効活用、分別の徹底、不法投棄の防止など、市民のごみ問題に対する意識の啓発を行っている。

### ①令和4年度主要事業の概要

#### ○各種会議

・幹事会

第1回

：令和4年4月26日（火）

総会提出議案の審議及び「監事の選任（案）」、「収集場所優良町会等表彰、個人及び団体表彰、有価資源物回収団体表彰受賞者（案）」について決定した。

・総会

※新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、郵送による書面決議とした。

決議があったものとみなされた日（議決権の行使用紙提出〆切日）

：令和4年5月20日（金）

収集場所の維持管理やごみの出し方が良く守られている町（内）会、地域の清掃奉仕やごみの減量化に努めている者・団体を表彰した。

収集場所優良町会等表彰：18町（内）会

個人表彰：48名

団体表彰：1団体

有価資源物回収団体表彰：10団体

また、「令和3年度事業報告及び収支決算について」及び「令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）」、「監事の選任（案）」について審議し、可決した。

・ブロック会議

東部、西部、南部、北部、中部、浪岡、サークルの各ブロック会議を開催し、事業報告及び事業計画（案）について審議する。

※新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため中止とした。



## ○市民一掃きデー（昭和61年度から実施）

市民の清掃意識の高揚と、明るくきれいな住みよいまちづくりを目指し、4月から10月まで毎月1回、「市民一掃きデー」として、道路や公園など公共の場所の清掃活動を行う。

市民一掃きデー実施状況（令和4年度）

区分	ブロック	実施日	清掃場所	参加者数
第1回	全体	4月9日（土）	合浦公園周辺	180名
第2回	浪岡	5月14日（土）	浪岡庁舎周辺	80名
第3回	東部	6月4日（土）	サンセットビーチあさむし及び浅虫海づり公園	140名
第4回	西部	7月2日（土）	柳川庁舎周辺	80名
第5回	中部	8月20日（土）	中央西公園（浦町小学校東隣）周辺	30名
第6回	北部	9月3日（土）	野木和公園	210名
第7回	南部	10月1日（土）	青森市スポーツ公園及びわくわく広場	180名
計				900名

## ○おもてなしクリーンキャンペーン

本市を訪れるお客様を気持ちよくお迎えし、「青森へ来てよかった、また来てみたい」と感じていただけるような「明るく住みよいまちづくり」を目指すとともに、おもてなしの心の醸成を図ることを目的として、サークルブロック及び周辺ブロック合同で清掃活動を行う。

実施日：令和4年7月30日（土）

清掃場所：青森駅前公園周辺

参加者：40名

## ○もったいないを考える日～ECOプラザ青森見学会～

「もったいない」という意識を再確認するとともに、市民のごみ処理及び資源リサイクルへの理解を深めるため、「もったいないを考える日～ECOプラザ青森見学会～」を開催する。

※新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため中止とした。

## ○会報「せいそう」の発行

ごみ出しルール・マナー及びごみの減量化・資源化に役立つ情報、スプレー缶の排出方法の変更についてのお知らせ等を掲載した会報を7月、12月、2月の年3回、各町（内）会及び自治会に送付し、各住民に回覧した。

送付枚数：7月：8,944枚、12月：8,970枚、2月：8,970枚

## ○ごみ出しルール向上推進事業

ごみ出しルールの周知徹底を図るため、ごみ出しルールの再確認のための講習会を開催した。

実施日等：令和4年11月7日（月）

西部市民センター 参加者：61名

令和4年11月17日（木）

浪岡中央公民館 参加者：13名



## ○ごみ減量化事業（平成26年度から実施）

ごみの減量化、特に可燃ごみに関して一層の減量化を推し進めるため、青森市ごみ問題対策市民会議と青森市とで連携したごみの減量化事業を実施した。

### ①ごみ減量化モデル交付金（交付町（内）会数：348町（内）会）

青森市内のごみの発生抑制や再使用、再利用などのごみの減量化・資源化につながる取組を活発にすることを目的として、市民生活に関わりが深く、事業効果が高い取組に対して交付金を交付した。

### ②ごみ減量化・資源化に対する意識啓発

市内のスポーツクラブである「青森ワッツ」（バスケットボール）、「ラインメール青森FC」（サッカー）と連携し、ごみ減量化のPRを兼ねたコラボエコグッズを作成して、試合会場等で記念品として配付し、若年層への意識啓発を図った。

### ③あおもり素材まるごとエコごはんの開催（観覧者数：延べ100人）

ゲストに料理研究家の本田よう一さんを迎え、青森市民が手軽に入手できる食材をまるごと使用したレシピを実演し、無駄なく食材を使い切ることで生ごみの削減のみならず、家庭にも優しいエコな料理を提案した。

日 時：令和4年12月3日（土）

場 所：サンロード青森

主 催：青森朝日放送㈱

特別協賛：青森市ごみ問題対策市民会議

内 容：実演メニュー（フライパンビビンバ、ボイルホタテとキャベツのスパゲッティ、りんごと白菜の昆布漬け、皮付き大根のキムチ漬け 以上4品）



### ④エコごはん料理教室の開催（参加者数：19名）

手軽に入手できる食材をまるごと使用したレシピを実践することで、生ごみの減量化につなげるための料理教室を開催する。

実施日時等：令和4年10月29日（土）西部市民センター

①午前の部 参加者：9名 ②午後の部 参加者：10名

内 容：メニュー（①甘酢大根サムギョブサル、②りんごと塩もみ大根の皮ごとサラダ、③ごぼうとにんにくのサラダガレット、④皮だけりんごのほうじ茶ティー）

### ⑤電気式生ごみ処理機普及啓発事業

生ごみ処理機の効果等を広めることにより生ごみの減量（可燃ごみの減量）を図るため、市民の皆様へ電気式生ごみ処理機を貸し出した。また、古くなり使用できなくなった3台を更新した。

貸出実績：5台

利用者数：5名



⑥食品ロスモニターの実施

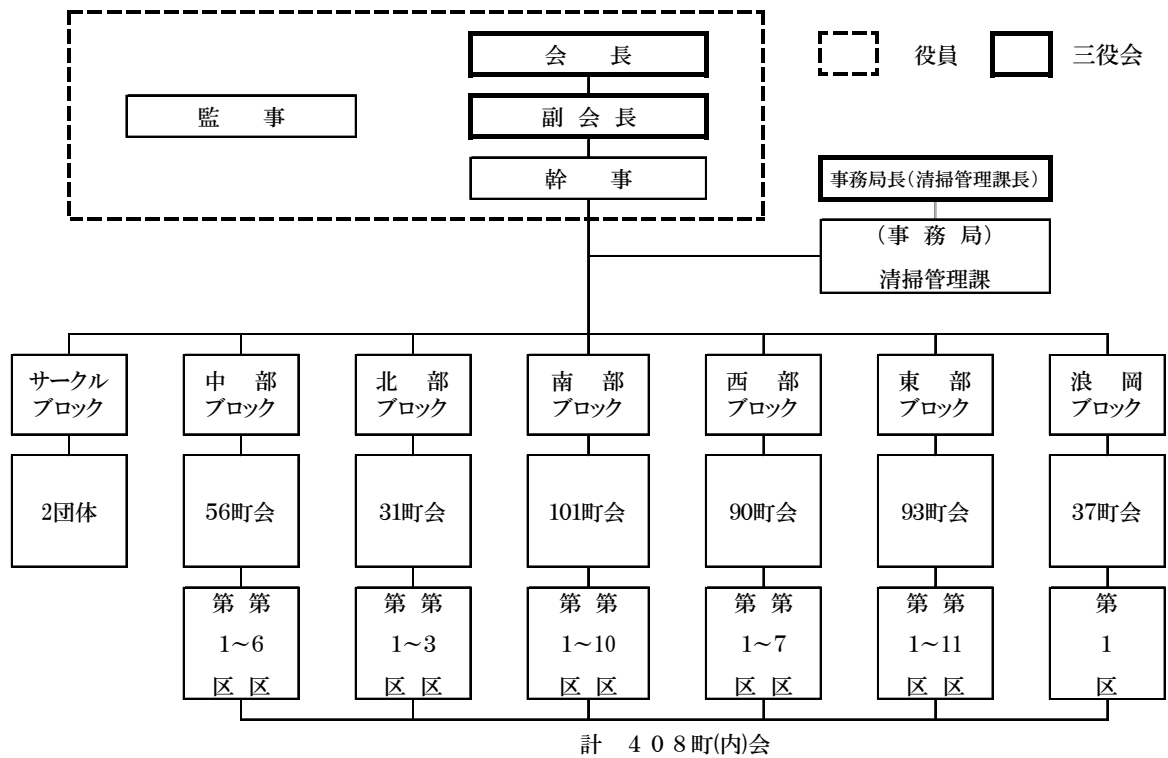
食品ロスとして廃棄した食べ物の種類、重量及び捨てた理由等を記録していただき、食品ロスが発生する原因を具体的に把握し、その解決に向けた方策を検討するために実施した。

【調査機関】令和4年10月17日(月)～10月30日(日)

【調査対象者】455名(ボランティア清掃を実施している10団体)



②組織図



サークルブロック団体 (3 団体)

1	青森市消費者の会
2	青森市老人クラブ連合会
3	青森市アメニティ事業協同組合

(令和5年3月31日現在)

### 3 環境啓発

#### (1) 清掃ごよみ、家庭ごみの正しい出し方、啓発用パンフレット等

##### ●青森地区

##### 清掃ごよみ(B3;両面)

青森地区の年間の収集日やごみの分別方法を紹介  
 収集日の違いにより12区分を作成  
 毎年2~3月にかけて全戸配布、転入・転居者等には清掃管理課・市民課・支所等で配布

##### ●浪岡地区

##### 家庭ごみの正しい出し方(B3)

浪岡地区のごみの分別方法を紹介  
 3月に町内会を通して配布  
 転入・転居者等には浪岡振興部市民課で配布

##### ●青森地区

**事業者の皆様へ重要なお知らせ!**

平成29年4月1日から実施!

**リサイクルできる古紙類は青森市清掃工場に搬入できません!**

◆ 注意 ◆

清掃工場においてリサイクルできる古紙類が搬入された場合は持ち帰っていただきます。

リサイクルされて製品に! きちんと分別! 古紙回収業者等に引き渡し!

古紙類の収集運搬については、古紙回収業者(裏面参照)または一般廃棄物収集運搬許可業者へご相談ください。なお、リサイクルできる古紙類をオフィス町内会が無料で回収(機密文書は有料)しています。詳しくは下記へお問い合わせください。オフィス町内会事務局(株)伸和産業 電話 787-3455

※市では、ごみの減量化・資源化のため、青森市清掃工場へのリサイクルできる古紙類の搬入を制限しますので、ご理解・ご協力の上、よろしくお願いいたします。

##### リサイクルできる古紙類は青森市清掃工場に搬入できません!(A4;両面)

事業者に対する青森市清掃工場への古紙の搬入制限のお知らせ



●青森市全域



**使用済  
小型家電  
リサイクル**

**みんなで取り組もう  
使用済小型家電リサイクル**

**使用済小型家電のボックス回収を行っています**

使用済小型家電は大切な資源です。これまで「不燃ごみ」として処理されていた小型家電内部には金や銅、レアメタルなどの貴重な資源が含まれています。青森市では、使用済小型家電を再資源化するため、市民センターなどにおいてボックス回収を行っています。みなさまのご協力をお願いします。

**★回収対象**

- CSデジタルチューナー ●ETCユニット ●DVD・ビデオデッキ
- ACアダプタ ●ミキサー ●ビデオプロジェクション
- プロジェクタ ●プラグ・ジャック ●カー用品（カーナビ、カーラジオなど）
- 電気アイロン ●電動工具（電気ドリルなど） ●日本語ワープロ

●パソコン本体や携帯電話は、個人情報削除したうえで、別途専用回収ボックスへ入れてください。

平成31年4月より  
回収対象品目を変更しました。

青森市 お問い合わせ／青森市環境部清掃管理課 TEL.017-718-1179

使用済小型家電リサイクル(A4;両面)  
使用済小型家電リサイクルのお知らせ

**青森市  
事業系ごみ  
適正処理等  
ガイドブック**

ごみの減量とリサイクルを進め、  
環境にやさしい事業所を目指そう！

青森市環境保全シンボルキャラクター  
地球の王子様「エコル」と妖精「ハナ」

青森市環境部 清掃管理課  
令和2年6月作成

事業系ごみ適正処理等ガイドブック(A4;21P)  
事業系ごみの処理方法や減量のコツを紹介

**青森地区** 令和4年8月作成

**INDEX**

**家庭ごみの出し方分別事典**  
～分ければ資源 選べればごみ～

ごみ分別の基本的な考え方 p.1  
市で処理できないごみ p.2  
粗大ごみ p.4  
その他のプラスチック p.5  
空き缶 p.6  
ペットボトル p.7  
ガラスびん p.8  
ビールびん・一升びん p.9  
古紙類 p.10  
燃えるごみ p.11  
燃えないごみ p.12  
資源回収 p.13  
自己搬入 p.15  
分別事典(50音順) p.16

**目次**

- ・ごみ分別の基本的な考え方 … P.1
- ・市で処理できないごみ … P.2
- ・品目別のごみの出し方 … P.4
- ・資源物の拠点回収 … P.13
- ・ごみの自己搬入 … P.15
- ・ごみの出し方分別事典(50音順) … P.16

【お問合せ先】 青森市 環境部 清掃管理課 TEL:017-718-1179 FAX:017-718-1187

ごみの出し方分別辞典(A4;38P)

ごみ分別の基本的な考え方や品目ごとの分別・排出方法について記載

\* 同様のデザインで浪岡地区版も作成

**その引っ越しごみ  
ちょっと待って!**

ごみ出しルール違反は町会の皆さんの大迷惑になります!!

**収集場所に出せないごみ** STOP

処理方法は市ホームページまたは清掃ごみ目録を確認ください

①粗大ごみ(概ね60cm以上のもの。ただし、石油ストーブは60cm未満でも粗大ごみ。)

石油ストーブ 自転車 ベッド スプリング マットレス こたつ など

市で処理できないもの

②特定家電 ※法律でリサイクルが義務付けられているもの

テレビ 冷蔵庫 冷凍庫 洗濯機 エアコン

③パソコン

本体・ディスプレイ

**収集場所に出せないならどうすればいいの? >>>**

① ② ③ まだ使えるものは、リサイクルショップへ。  
清掃ごみ目録の下にもリサイクルショップが載っています。

① ② ③ 粗大ごみ受付センター(☎017-718-1184)へ収集を依頼。  
収集日は月2回(無料)。日にちが満ちているので申込みはお早めに。

① ② ③ 青森市清掃工場に自己搬入。  
一部、集約前処理場への搬入となる場合があります(有料)。  
場所は市ホームページでご確認ください。【青森市清掃工場】

② ③ ④ 処理方法は市ホームページで確認。  
市で収集・処理しない物(旧青森市の区域) 【青森市清掃工場】

ご不明な点は… 駅前庁舎3階 青森市清掃管理課 ☎017-718-1179

**大量のごみは一度に出さないで!**  
粗大ごみ以外(燃えるごみ、燃えないごみ)でも大量に収集場所に出してしまうと、地域の方々にごみを出させません!少量ずつ分けて出しましょう。

その引っ越しごみちょっと待って!(A4;両面)

粗大ごみや特定家電、パソコン類を収集場所に出さないよう注意喚起  
主に大学生やアパート居住者を対象に配布

## (2) 環境パネル展・出前講座等実施状況

### ●令和4年度環境パネル展実施状況

No	月 日	件 名
1	6月27日	ごみ減量化パネル展
2	12月11日	環境フェア
	合 計	2回

### ●令和4年度出前講座実施状況

No	月 日	対象団体	人数
1	4月8日	青森県立保健大学	230人
2	4月8日	東奥保育・福祉専門学院	41人
3	5月18日	青森市立大野小学校	86人
4	5月27日	青森県立浪岡高等学校	35人
5	6月14日	スイトピーの会	8人
6	6月23日	青森市立小柳小学校	56人
7	7月19日	横内市民センター	4人
8	10月14日	青森市民大学・大学院	24人
9	10月15日	相馬町町会	23人
10	11月17日	食生活改善推進員養成講座受講者	10人
11	11月18日	筒井地区連合町会	25人
12	2月11日	三内を美しく元気にする会	12人
13	3月11日	相馬町町会	18人
	合 計	13回	572人